

【広島市消費者物価指数】

1 平成22年9月の動向

- 広島市総合指数（100.1）は前月比は2ヶ月連続で上昇。前年同月比は18か月連続で下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.5）は前月比で上昇。前年同月比は18か月連続で下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（97.3）は前月比で4か月ぶりに上昇。前年同月比は18か月連続で下落。

2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.1	0.5	▲0.9
生 鮮 食 品 を 除 く 総 合 指 数	99.5	0.1	▲1.5
食 料（酒類を除く）及び エ ネ ル ギ ー を 除 く 総 合 指 数	97.3	0.3	▲1.8

3 前月からの動き

～食料，被服及び履物が上昇。交通・通信，教養娯楽は下落。～

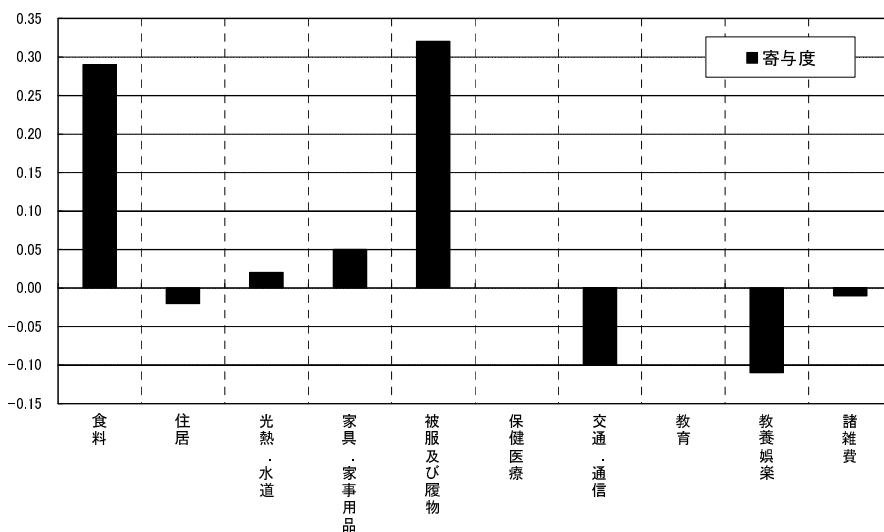
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.1	105.1	99.7	106.4	80.2	106.1	97.5	98.3	93.5	93.7	101.5
前月比 (%)	0.5	1.1	▲ 0.1	0.3	1.8	6.2	▲ 0.1	▲ 0.7	0.0	▲ 1.1	▲ 0.1
寄与度	0.5	0.29	▲ 0.02	0.02	0.05	0.32	0.00	▲ 0.10	0.00	▲ 0.11	▲ 0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について，寄与の大きかった中分類項目

被服及び履物：洋 服（前月比 7.6%，寄与度 0.17）等
食 料：野菜・海藻（前月比 6.2%，寄与度 0.16）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に，各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来，寄与度の合計は，総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが，四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目（主な品目名）	前月比	項 目（主な品目名）	前月比
洋服（男児ズボン 等）	7.6%	教養娯楽サービス（宿泊料 等）	▲1.8%
野菜・海藻（トマト、ねぎ 等）	6.2%	交通（航空運賃 等）	▲2.4%
シャツ・セーター類（ワイシャツ [長袖] 等）	15.3%	穀類（あんパン 等）	▲1.1%
果物（なし、もも 等）	11.3%	自動車等関係費（ガソリン 等）	▲0.3%
調理食品（調理パン 等）	2.0%	家賃（持家の帰属家賃[木造中住宅]等）	▲0.1%

4 前年同月からの動き

～食料及び光熱・水道を除くすべての費目で下落し、18か月連続の下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲0.9	0.5	▲0.5	2.4	▲6.4	▲2.4	▲0.1	▲0.1	▲11.8	▲1.8	▲0.3
寄与度	▲0.9	0.13	▲0.09	0.16	▲0.19	▲0.13	0.00	▲0.01	▲0.59	▲0.18	▲0.02

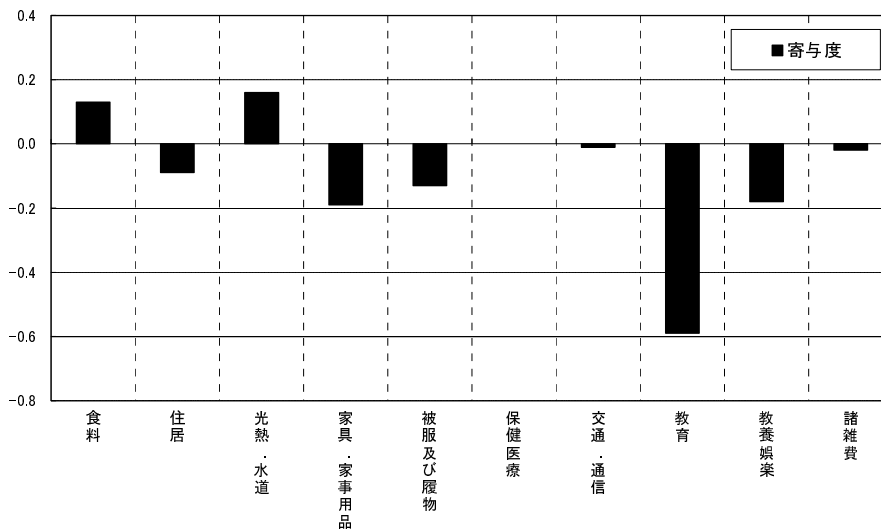
(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

教 育：授業料（前年同月比▲16.0%，寄与度▲0.58）等

家具・家事用品：家庭用耐久財（前年同月比▲13.6%，寄与度▲0.10）等

教 養 娯 楽：教養娯楽用品（前年同月比▲4.7%，寄与度▲0.10）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目（主な品目名）	前年同月比	費 目（主な品目名）	前年同月比
果物（なし 等）	29.0%	授業料等（公立高校授業料 等）	▲16.0%
野菜・海藻（トマト、ねぎ 等）	6.0%	教養娯楽用品（ペットフード[ドッグフード] 等）	▲4.7%
魚介類(さんま 等)	4.1%	家庭用耐久財（ルームエアコン 等）	▲13.6%
ガス代（都市ガス代 等）	4.6%	洋服（婦人上着 等）	▲3.7%
他の光熱（灯油）	14.4%	教養娯楽用耐久財（テレビ[薄型] 等）	▲20.8%